

## 平成 16 年度産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会の審議事項について(案)

本小委員会において、平成 16 年度に新たにご審議いただきたい事項は以下のとおり。

## 1. 産業廃棄物の適正処理

### (1) 検討内容

排出事業者が廃棄物等を排出する際に留意すべき事項について、資源の有効利用による循環型経済社会構築への寄与、廃棄物等の不適正処理がなされることの予防、経営リスクの低減や 3R の推進を通じたコストの削減、ブランドイメージ向上を通じた企業価値の向上、という 3 つの観点から検討し、自らの企業活動に伴い排出される廃棄物等の管理を経営活動の重要な要素として対応するために必要な事項の整理を行う。(本件は、平成 10 年度に作成した「産業構造審議会産業廃棄物排出事業者適正処理ガイドライン」の抜本的見直しという位置付け)

### (2) 検討体制

廃棄物・リサイクル小委員会(本体)

### (3) 審議スケジュール

平成 16 年 5 月～9 月(4 回程度を予定)

## 2. 国際資源循環

### (1) 検討内容

我が国との関係が深いアジア域内での適正な資源循環・廃棄物処理リサイクルを促進するべく、特にアジア各国からの我が国(例:非鉄金属精錬業のポテンシャルを活用した有用金属回収)、我が国からアジア各国(例:我が国で回収・リサイクルされた CRT ガラスカレットをアジア各国でのブラウン管製造に利用)という適正な資源循環の流れ、アジア現地進出日系企業における適正な廃棄物処理リサイクルの促進、という観点から、問題点の把握及び対応策の検討を行う。

### (2) 検討体制

廃棄物・リサイクル小委員会国際資源循環ワーキンググループ(新設)

### (3) 審議スケジュール

平成 16 年 6 月～9 月(4 回程度を予定)

### 3．容器包装リサイクル

#### (1)検討内容

容器包装リサイクル法附則に規定されている施行後10年の検討条項を踏まえ、平成17年度に評価・検討を行うべく、容器包装リサイクル制度に係る見直しを開始する。

#### (2)検討体制

廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルワーキング・グループ  
関係審議会との合同も検討

#### (3)審議スケジュール

本年夏頃から論点整理及び関係者ヒアリングを開始する予定

### 4．その他

自動車バッテリーリサイクル関係についても、今後検討を行う予定。